



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月5日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 網嶋 耕二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 難波 篤

TEL 086-246-0309

四半期報告書提出予定日 平成31年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	52,309	1.5	4,745	2.1	4,823	2.1	2,410	8.8
30年3月期第3四半期	51,544	2.6	4,848	10.3	4,925	13.1	2,643	25.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,394百万円 (9.3%) 30年3月期第3四半期 2,638百万円 (25.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	108.52	
30年3月期第3四半期	119.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	60,238	48,527	80.6
30年3月期	59,945	47,510	79.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 48,527百万円 30年3月期 47,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		31.00		31.00	62.00
31年3月期		31.00			
31年3月期(予想)				31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,347	1.8	6,663	1.1	6,800	1.0	3,338	7.8	150.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	22,777,370 株	30年3月期	22,777,370 株
31年3月期3Q	564,109 株	30年3月期	563,978 株
31年3月期3Q	22,213,317 株	30年3月期3Q	22,213,444 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報 「参考資料」	9
(1) 仕入実績	9
(2) 販売実績	9
(3) 種類別販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な設備投資や雇用環境を背景とし、引き続き緩やかな景気の回復基調が継続する一方で、新興国の景気減速懸念など海外経済の不確実性の高まりもあり、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、人件費の上昇に加え原材料価格の高騰など高コスト化が進行する中、消費者の根強い節約志向や低価格志向などにより価格転嫁は容易ではなく、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、既存店強化を重点課題とし、人人体制の整備と強化、商品の品質とサービスレベルの向上に努めるとともに、中長期的な成長を支えていくための実験業態の開発やブラッシュアップに取り組んでまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店2店舗、ベーカリーレストラン・パケット直営店2店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営店6店舗、すし処函館市場直営店1店舗、神戸元町ドリア直営店2店舗、サンマルクカフェ直営店8店舗、倉式珈琲店直営店8店舗、フランチャイズ店1店舗、計9店舗、実験中の奥出雲玄米食堂井上直営店2店舗、ザ・シーズン直営店1店舗、天清直営店1店舗をそれぞれ出店（当第3四半期連結累計期間出店数：直営店33店舗、フランチャイズ店1店舗、計34店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第3四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店888店舗、フランチャイズ店35店舗、合計923店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高523億9百万円（前年同期比1.5%増）、経常利益48億23百万円（同2.1%減）となりました。また、特別損益では、海外の非連結子会社に対する関係会社株式評価損7億49百万円の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益24億10百万円（同8.8%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は286億3百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は31億68百万円（同7.4%増）となりました。

喫茶事業売上高は234億95百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は27億1百万円（同6.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は602億38百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億92百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は199億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億94百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が7億11百万円、売掛金が1億73百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は402億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億2百万円の減少となりました。これは主に減価償却等により建物及び構築物が4億95百万円減少したこと及び非連結子会社の株式評価損等により、投資その他の資産のその他が10億5百万円減少し、取崩により貸倒引当金が7億円減少したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は74億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億73百万円の減少となりました。これは主に引当金が1億30百万円増加した一方、未払法人税等が8億25百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は42億26百万円となり前連結会計年度末と比較して1億50百万円の減少となりました。これは主に店舗設備の割賦購入による長期未払金が2億71百万円減少した一方、直営店出店に伴う資産除去債務が95百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して10億16百万円増加して485億27百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月14日の四半期決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,481,187	14,193,003
売掛金	4,341,537	4,515,027
原材料及び貯蔵品	317,833	387,864
その他	928,315	868,275
貸倒引当金	△18,659	△19,042
流動資産合計	19,050,213	19,945,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,432,660	20,936,827
土地	3,894,354	3,894,354
その他(純額)	1,912,459	1,976,468
有形固定資産合計	27,239,473	26,807,650
無形固定資産		
その他	133,421	130,890
無形固定資産合計	133,421	130,890
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,437,190	9,574,340
その他	4,789,421	3,784,339
貸倒引当金	△703,841	△3,841
投資その他の資産合計	13,522,770	13,354,838
固定資産合計	40,895,665	40,293,379
資産合計	59,945,878	60,238,507
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,374,725	2,426,069
未払金	3,825,563	3,860,789
未払法人税等	1,067,990	242,812
引当金	71,159	201,685
資産除去債務	2,380	26,961
その他	716,136	726,008
流動負債合計	8,057,955	7,484,326
固定負債		
長期末払金	889,540	618,431
退職給付に係る負債	191,315	213,496
事業整理損失引当金	63,784	63,784
資産除去債務	3,118,450	3,213,724
その他	114,465	117,386
固定負債合計	4,377,556	4,226,824
負債合計	12,435,511	11,711,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,039,016	3,039,016
利益剰余金	43,973,380	45,006,837
自己株式	△1,255,928	△1,256,284
株主資本合計	47,487,646	48,520,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,720	6,609
その他の包括利益累計額合計	22,720	6,609
純資産合計	47,510,366	48,527,356
負債純資産合計	59,945,878	60,238,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	51,544,828	52,309,432
売上原価	11,245,436	11,366,640
売上総利益	40,299,392	40,942,791
販売費及び一般管理費	35,451,077	36,197,353
営業利益	4,848,315	4,745,437
営業外収益		
受取利息	5,860	5,461
受取配当金	1,838	1,941
受取賃貸料	117,042	139,745
その他	68,652	74,610
営業外収益合計	193,394	221,759
営業外費用		
支払賃借料	99,895	116,508
その他	16,430	27,541
営業外費用合計	116,326	144,049
経常利益	4,925,383	4,823,147
特別利益		
受取保険金	—	103,703
特別利益合計	—	103,703
特別損失		
固定資産除却損	132,150	129,845
減損損失	138,790	165,214
関係会社株式評価損	—	749,792
貸倒引当金繰入額	503,921	—
災害による損失	—	58,397
特別損失合計	774,862	1,103,250
税金等調整前四半期純利益	4,150,521	3,823,600
法人税、住民税及び事業税	1,803,057	1,552,559
法人税等調整額	△296,437	△139,644
法人税等合計	1,506,619	1,412,915
四半期純利益	2,643,901	2,410,684
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,643,901	2,410,684

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	2,643,901	2,410,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,204	△16,110
その他の包括利益合計	△5,204	△16,110
四半期包括利益	2,638,696	2,394,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,638,696	2,394,573
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注)3
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	28,314,766	23,224,435	51,539,201	5,627	51,544,828
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,314,766	23,224,435	51,539,201	5,627	51,544,828
セグメント利益	2,950,891	2,892,007	5,842,898	△994,583	4,848,315

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価1,913千円、各報告セグメントに配分していない全社費用998,297千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト		合 計	調 整 額 (注) 1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン	喫茶			
売上高					
外部顧客への売上高	28,603,091	23,495,998	52,099,089	210,342	52,309,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,603,091	23,495,998	52,099,089	210,342	52,309,432
セグメント利益	3,168,485	2,701,277	5,869,763	△1,124,325	4,745,437

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。
2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価62,718千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,271,948千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」及び「喫茶」セグメントにおいて、固定資産に係る重要な減損損失は認識していないため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

「参考資料」

(1) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	6,791,172	100.6
喫茶	4,547,858	100.0
合計	11,339,030	100.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	28,603,091	101.0
喫茶	23,495,998	101.2
合計	52,099,089	101.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第3四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	27,826,716	101.6	118,784	78.0	657,590	85.1	28,603,091	101.0
喫茶	23,111,136	101.1	38,349	98.0	346,512	103.4	23,495,998	101.2
合計	50,937,853	101.4	157,133	82.1	1,004,103	90.6	52,099,089	101.1

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。